

月刊ウィーン

現地オリジナル取材と編集で
ウィーンを伝える月刊情報紙
創刊 1989年 No.220

GEKKAN-WIEN 2007年10月号

Anton Hinkel Porträt der Marie-Thérèse Princesse de Lamballe ©Sammlung des Fürsten von und zu Liechtenstein, Vaduz-Wien

アントン・ヒッケル(一七四五〜一七九八)
『マリー・テレーゼ・プリンセス・ドゥ・ランバル(一七四九〜一七九二) 一七八八年 カンヴァスに油彩 66 x 44 cm
フュルステン・フォン・ウント・ツォー・リヒテンシュタインのコレクション (ザアドウーツ ウィーン)
リヒテンシュタイン美術館(ウィーン)にて10月29日まで展示 10頁参照



ウィーン大学が輩出した巨星たち

エルヴィン・シュレーディンガー Erwin Schrödinger

エルヴィン・シュレーディンガー（一八八七～一九六二）は、ウィーン三区エルトベルクに生まれた。遺産相続した商會を経営する在野の化学・生物研究家の父、ウィーン工科大学の娘で世話好きで明るい母を両親とする裕福な家庭に育った。名門の王立アカデミッシュ・ギムナジウムを全学年首席で卒業し、一九〇六年にウィーン大学に入学する。全科目最優秀の成績で口頭試験に合格し、二十二歳で博士号を取得。卒業後は、ウィーン大学第二物理学教室の助手を務める。第一次大戦が勃発した一四年から一八年までオーストリア西南戦線で兵役を送るが、合間にアインシュタインの一般相対性理論を勉強する。戦後、ウィーン大学に戻り、その後、イエナ、シュトゥットガルト、ブレスラウの各大学で電気学、光学、色彩論などの研究に従事した。

二一年にチューリヒ大学の理論物理学教授に就任して、量子力学の研究に取組み、原子炉内の原子核反応を含むミクロな挙動を記述するシュレーディンガー方程式を導出し、波動力学を確立した。アインシュタインは「あなたの仕事のアイデアは真の天才の証明です」と手紙の中で賞賛した。二七年にはプランクの後任としてベルリン大学理論物理学教授に就任し、三三年にはディラックとともにノーベル物理学賞を受賞した。同年、ナチスの台頭により、イギリスへ亡命した。三六年グラーツ大学教授として祖国に帰還したが、三八年オーストリア併合により、アイルランドのダブリンへ亡命した。

量子力学は今や大学理系の常識であり、現代ハイテクの基礎であるが、未解決の「解釈」問題がある。「シュレーディンガーの猫」は、箱の中に猫、放射性物質、検出器、青酸ガス発生装置を入れたシュレーディンガーが案出した思考実験。放射性物質の放出確率が一時間に〇・五とすると、一時間後に放射線を検出し青酸ガスが発生して猫が死ぬ確率は〇・五。それまで生死二つの状態が重ね合わせで進行し、観測者が箱のフタを開けた時になって初めて生死が確定するという常識とは相容れないパラドックス。この有力な解決策が

五七年にプリンストン大学院生だったエヴェレットが提出した「多世界解釈」。観測者を含めた世界が確率に従って無数に分岐し、分岐した世界同士が干渉せず併存すれば矛盾はない。映画やSFのパラレル・ワールドである。学生時代に観測問題が難しく理解出来なかつた筆者は、この説明を初めて聞いた時、妙に納得した覚えがある。

シュレーディンガーは、英、仏、スペイン、伊語を流暢に話し、ラテン語とギリシア語も堪能だった。世界文学の大作を原語で読むのを好んだ。彫刻や絵画、古典、詩についても造形が深かった。狭い専門領域を超えた普遍的教養を持っていた。ザルツブルク郊外のゼーハムでの実験時に知り合ったアンネマリリーと二十一年にウィーンで結婚式を挙げた。仲間や家族との散歩と山登りを生涯楽しんだ。戦後は、分子生物学への道を開くとともに、人間の精神世界の解明にも取り組んだ。DNAの二重らせん構造の発見でノーベル生理・医学賞を受賞したワトソンとクリックは、シュレーディンガーの著書「生命とは何か」に影響されたことを彼への手紙で述べている。

五六年シュレーディンガーは祖国に戻り、ウィーン大学特別教授に就任、オーストリアは国を挙げて偉大な科学者の帰還を歓迎した。五八年に大学を退官、南チロル地方のアルプバッハで静養と執筆活動が続けた。ウィーンの病院で治療を受けたが、六一年に永眠、アルプバッハの教会墓地に埋葬された。七三年、国際原子力機関のある二二区に科学技術高校が新設される際、隣接する広場がシュレーディンガー広場と名付けられ、八四年、ウィーン大学のアルカードンホーフに記念像が設置された（*写真参照）。

音楽と芸術の都ウィーンには、今日の世界のエネルギーを支える原子力の基礎の発展に貢献した二十世紀の知の巨人、シュレーディンガーの面影が残されている。仕事や芸術鑑賞の合間にこれら足跡を訪ね、多世界の一つ岐を彷徨っては如何。

●参考文献 『シュレーディンガーの生涯』 D.ホフマン

■杉本純（日本原子力研究開発機構 原子力研修センター長 前ウィーン事務所長）



正面ホールに展示した偉大な先輩のパネル中央がシュレーディンガー



ウィーン大学正面ホール



大学中庭回廊にある記念像



大学中庭回廊にある記念像



ウィーン大学正面

『みゆう』 毎日催行・現地発ツアー&チケット手配
 ウィーン市内観光・ウィーンの森半日観光 他（要予約）
『みゆう』インフォメーション・センター
TEL: (01)513 9588 (日本語)
 土日祝日を除く毎日8:30-11:00
 (12月25日と1月1日は休業)
 OPERNRING 4 (Elite Tours内) 国立オペラ座横
MIKI TRAVEL VIENNA 月~金 (9:00-17:30)
TEL: (01)310 2188-18
 myu@mikivie.at www.myushop.net

My bus 日本語定期観光バス
 美しい自然と文化遺産の数々を
 日本語ガイドが親切に説明致します。

ウィーン市内半日観光 毎日 9時出発
 ウィーンの森半日観光 毎日 14時出発
 バッハウズ谷 1日観光 火・木・日 9時半出発 (10月8日まで)
 ウィーンナイトツアー 毎日 19時15分出発
 鉄道の旅ザルツブルク市内観光 毎日 8時22分出発
 鉄道の旅ザルツカンマーグート観光 毎日 8時22分出発
 ウォーキング美術館博物館 火・木・土 14時15分出発
 ミュージックウォーキングツアー 水・金・日 14時15分出発

●地下鉄①②③号線KARLSPLATZ下車

HIS ウィーン支店 航空券・ホテル・コンサートチケット
TEL: 01 587-1073
 e-mail: vienna@his-austria.at
 営業時間: 月~金 09:00~17:30 **www.his-austria.at**

ご予約 (日本語) **TEL 01-7160947**
 マイバス・センター Net Travel Service Austria GmbH
 Operngasse 6/2 A-1010 Wien
 月~金: 09:00-17:30 tel. 01-7160947
 土日祭日: 09:00-17:30 tel. 0664-4032882
 (マイバスのみ 英語)

ネットトラベルサービスでは
 コンサートチケットや列車の
 手配もしております。
 H.P.をご参照下さい。
www.enjoyaustria.net